チェックシートの活用にあたって



不登校対策チェックシート (ゴールデンウィーク編)

ゴールデンウィーク(GW)を心待ちにしている子どもがいる一方で、不安な思いを抱いている子どもや保護者もいるかもしれません。 また、これまで登校できていても、長期の休みで心や体に不調を来たし、学校や教室に行きづらくなる子どもたちも出てきます。



長い休みは嬉しいけど、 休み明けにちゃんと学校 に行けるかな…



を開が終わるかな… 朝起きられなかった らどうしよう…



みんなは遊ぶ約束を しているけど、 私は何の予定もないな…



√子どもの休み明けが √不安… √先生に相談しようかしら…

そこで、チェックシートを活用してみましょう!

本シートは、新学期から不安を抱えながらも、何とか登校できている子どもに焦点を当て、

- ① 学級担任が、GW前後において気になる子どもの変化に気づき、その子に合わせた支援を行うこと
- ② 不登校の傾向が表れた子どもたちに対して、早期に管理職や学年主任、教育相談担当や養護教諭などが学校として組織的に支援できるようにすることを目的として作成しました。ぜひ御活用ください。

不登校の傾向を見せ始める時期に、気になる子どもを見つけ、すぐに対応しましょう

※ 4月からの子どもの様子を基に判断してください

	登校状況	
登校できている	状態O	平常に登校しているが、 ときどき気になる行動が 見られる
	状態1	遅刻・欠席がしばしばある 又は、保健室登校が多い
	状態2	半分以上の欠席がある 又は、保健室・相談室登校 をしている
い登 なができて	状態3~ 状態5	学校以外の施設への定期的な 参加ができている { 家族ともほとんど顔を合わせ ず、部屋に閉じこもっている

※状態 $0 \sim 5$ は、「『小児心身医学会ガイドライン集』 改訂第 2 版」を参考にしています

【気になる行動】

[生活]

- 〇朝、起きられなくなる(遅刻が増える)
- 〇食欲がなくなる(昼食時に食べ残しがある)
- ○生活習慣が乱れてくる

「健康]

- ○保健室をよく利用するようになる (教室に居たがらない)
- 〇身体症状(頭痛、腹痛、吐き気等)を 訴えるようになる

[学習]

- ○宿題などをしなくなる
- ○忘れ物が増える
- ○ノートをとらなくなったり字が乱れたり してくる

[対人関係]

- 〇休み時間に一人でいることが多くなる
- 〇一人で登下校するようになる

など

学校ができる不登校支援

担任を中心とした子ども理解

状態の程度を 見極めながら、 GW前に、特に 気になる子ど もにはすぐに 対応します

子どもの 今の 現状把握

初期対応

支援策と支援者の決定

学校全体

での共有

組織的な

対応の検討







不登校対策チェックシート(ゴールデンウィーク語)

子どもが元気に学校生活を送るためには、子ども同士はもとより、先生と子どもとの良好な関係づくりが不可欠です。 日頃から、子どもが安心して過ごすことができるような学級、子どもが気軽に相談できる雰囲気づくりを心がけ、 子どもや保護者と接するときは、「一緒に考えていきましょう」という共感的な姿勢で、安心感をもたせましょう。

子どもの今の状況把握

初期対応

学校全体での共有

組織的な支援方策の検討・決定

O 子どもの気になる行動は見られませんか?

月	日

	子どもの気になる行動	気になる行動が 見られる子ども
	①朝、起きられなくなる [遅刻が増える]	
生	②食欲がなくなる	
活	[昼食時に食べ残しがある]	
	③生活習慣が乱れてくる	
健	④保健室をよく利用するようになる	
	[教室に居たがらない]	
康	⑤身体症状(頭痛、腹痛、吐き気等)を 訴えるようになる	
学習	⑥宿題などをしなくなる	
	⑦忘れ物が増える	
	⑧ノートをとらなくなったり、字が 乱れたりしてくる	
対人関係	⑨休み時間に一人でいることが多く なる	
	⑩一人で登下校するようになる	
その	⑪前年度に不登校(傾向)が見られた。	
	⑫その他、気になること	
他	r ı	

O 特に気になる子どもに対しては、休業前と休業後に以下のポイントに ついてチェックしながら、支援を行いましょう

		_	支援するポイント
			□ 意識的に言葉かけを行い、本人の表情や受け答えを観察する □ 子どもの様子が普段と違うときは、関わる先生に相談する □ 個別に話す機会を設ける □ 子どもが気になることを話した場合は、以下の対応を参考にする
	<i>I</i> +		≪子どもが気になることと対応の例≫
休 業 前			 ・宿題(課題) …□ 宿題(課題)の量や期限などを一緒に考えていく ・部活動 …□ 本人の思いを十分に聴き、部活動の顧問とそのことを共有する ・友達関係 …□ 本人の思いを十分に聴き、今後も見守っていくことを伝える
			□ 保護者との情報共有が必要な場合は、本人の了承を得て、電話連絡や 家庭訪問を行う
	1日	欠席	□ 電話連絡を行う □ 家庭での様子で気になることがある場合は、家庭訪問を行う □ 子どもの様子を、教育相談担当や学年主任、管理職と情報共有する
休	目	登 校	□ 子どもを励ます言葉かけを行う□ 学校での様子を保護者に伝える
*業後	2	欠席	□ 子どもに対する支援策を組織的に検討する
	2日目以降	登 校	□ 言葉かけを行い、さりげなく励ます □ GW 前後の子どもの生活の様子を教育相談担当に伝える □ 左記のチェックシートを用いて、引き続き、子どもの様子を把握する □ 気になる様子がある場合は、子どもに関わる先生と情報共有する